

# 南仏治安情報(2010年3月)

## ■プロヴァンス地方

### 1. 銃等を用いた発砲事件が多発

3月にはマルセイユ市を中心に、銃や手榴弾を用いた発砲事件が13件報じられました。警官に向けて発砲されたものの他、隣人間の騒音を巡る問題やグループ間抗争によるものも多く見られています。中には通行人を無差別に狙ったものや、流れ弾で抗争と無関係の12歳の少女が脚を負傷する事件も起きています。ご注意ください。

### 2. ブッシュ・デュ・ローヌ県の空き巣被害

2009年の犯罪統計によると、ブッシュ・デュ・ローヌ県は住人1000人当たり約6件の被害を数え、ピレネー・オリオンタル県、エロー県、アルプ・マリタイム県と同じく、フランスで空き巣被害が頻発している6県の内に数えられることが明らかになりました。犯人は13～17歳の若者に多く、一時的に身柄を拘束してもすぐに釈放されることが多いようです。

### 3. 車両破壊・車上荒らし連続犯を逮捕

3月18日マルセイユ市9区路上で、ルーマニア出身30歳の男が車両破壊の現行犯で逮捕されました。男は2007年にマルセイユに着いてから1晩に平均10件以上の車両破壊行動や車上荒らしを繰り返し、2010年に入って既に7区、8区、9区で少なくとも178台の車両の窓ガラスを破壊し、音響機器や貴重品の窃盗に関与しているようです。

### 4. カード詐欺関連の9名を逮捕

3月にはマルセイユ市3区で、25～35歳の男女15名が取調べを受け、9名がカード詐欺への関与で逮捕されました。この詐欺組織は現金引出機に仕掛けをしてカードを盗み取るマルセイユの罟と呼ばれる手口その他、小型装置で磁気テープの情報を盗んだり、高齢者を狙ってカードが出てこないから、取引停止のため偽の番号に電話をするよう勧めるなどの手口でカード情報を盗み、犯行を重ねていました。

## ■コートダジュール地方・コルシカ島

### 1. サッカーの試合に便乗した暴動事件への対策

3月20日夜に予定されていたOGCニース対パリ・サンジェルマンのサッカー試合は、便乗した暴動事件への警戒から観客なしでの開催となりました。ニース市内では約600人の警官が動員され、市内では16時から深夜0時30分までアルコール類、花火など火薬類の販売が禁止されました。今後もこのような防犯対策が取られる予定です。

### 2. カナビス取引者を一斉逮捕

3月中には複数回にわたり麻薬取引者の一斉捜索があり、ニース市で13名、Vallauris市で22名のカナビス取引者グループが逮捕され、家宅捜索の末合計3kg以上のカナビスが押収されました。また他にもTurbieの高速料金所で麻薬取引に関わっていた55歳の男が逮捕され、4.3kgのカナビスが押収されています。

### 3. 麻薬取引者等による治安悪化

ニース市西部Jean-Vigo通りでは、麻薬取引者が多く集まるために最近急激に治安悪化が見られており、近隣の住宅が破壊されたり住人への嫌がらせが続いています。中には警察へ通報し



たことがきっかけで脅しを受ける住人もおり、パトロール強化や監視カメラの設置などの対策が求められています。

#### 4. 花粉症などアレルギー反応をもつ低年齢の子供が急増

当地方では近年、特にスギ花粉による花粉症を発症する人が急増していますが、生後 4～5 ヶ月の乳児にも花粉症の症例が見られていることが明らかになりました。ダニや動物によるアレルギー反応に比べ判定が難しいのですが、花粉によるアレルギーも深刻化しているようで、呼吸器官への影響の他じんましんやアレルギーショックを伴う例もあるようです。

### ■ミディ・ピレネー地方

#### 1. 商店等を狙った武器を用いた強盗事件が多発

3 月中には地方紙が報じたものだけでも、トゥールーズ市および郊外で 14 件、モンペリエ市および郊外で 4 件の商店を狙った強盗事件が起きています。犯行は開閉店時間に多く見られましたが、3 月 20 日に 2 件、3 月 28 日に 3 件、郵便局が他の利用客も居合わせる午前中に連続して被害に遭いました。犯人はいずれも逮捕されていません。

#### 2. 駐車車両への破壊行動

トゥールーズ市内の住宅の地下駐車場では、駐車中の複数の車両が連続して破壊され、車上荒らしに遭う被害が多発しています。また 3 月 6 日に Muret 通り、Marquette 大通りで合計 27 台の車両のサイドミラーを連続して破壊した 3 人の若者が逮捕されています。これを受け、パトロール強化と車上荒らしの犯人割り出しのため 80 人の警察官が増員される予定です。

#### 3. 麻薬取引者 6 人を逮捕

当地方ではトゥールーズ市、モンペリエ市ともに麻薬所持者および取引者の逮捕が後を絶ちませんが、3 月に入りトゥールーズ市内の Reynerie 地区などで、38 歳モロッコ人と 36 歳トゥールーズ出身者を中心とした 6 名がハシッシュ(大麻樹脂)の取引の罪で逮捕され、31kg が押収されました。

#### 4. 現金引出機の使用にご注意を

3 月 15 日、Cornebarieu 市の BNP の現金引出機に、カード内容を読み取る機械とコード入力を盗撮するための小型カメラが設置されているのが見つかりました。盗まれた情報はカードの偽造やインターネットでの取引に悪用される恐れがあります。同様の手口は当地方ではこれまであまり見られなかったことから、警察は今後警戒するよう注意を呼びかけています。

### ■その他テロリスト関連記事

#### 1. コルシカ島ポニファチオでの爆破事件

3 月 2 日夜、ポニファチオのキャンプ場「A Rondinara」で何者かによる爆破事件が起こりました。合計で 3 発の爆破物が連続して爆破されたのが確認されています。犯行声明などは現在のところ出ていません。

以上の治安情報は、当地地方紙等から得られた情報に基づくものです。